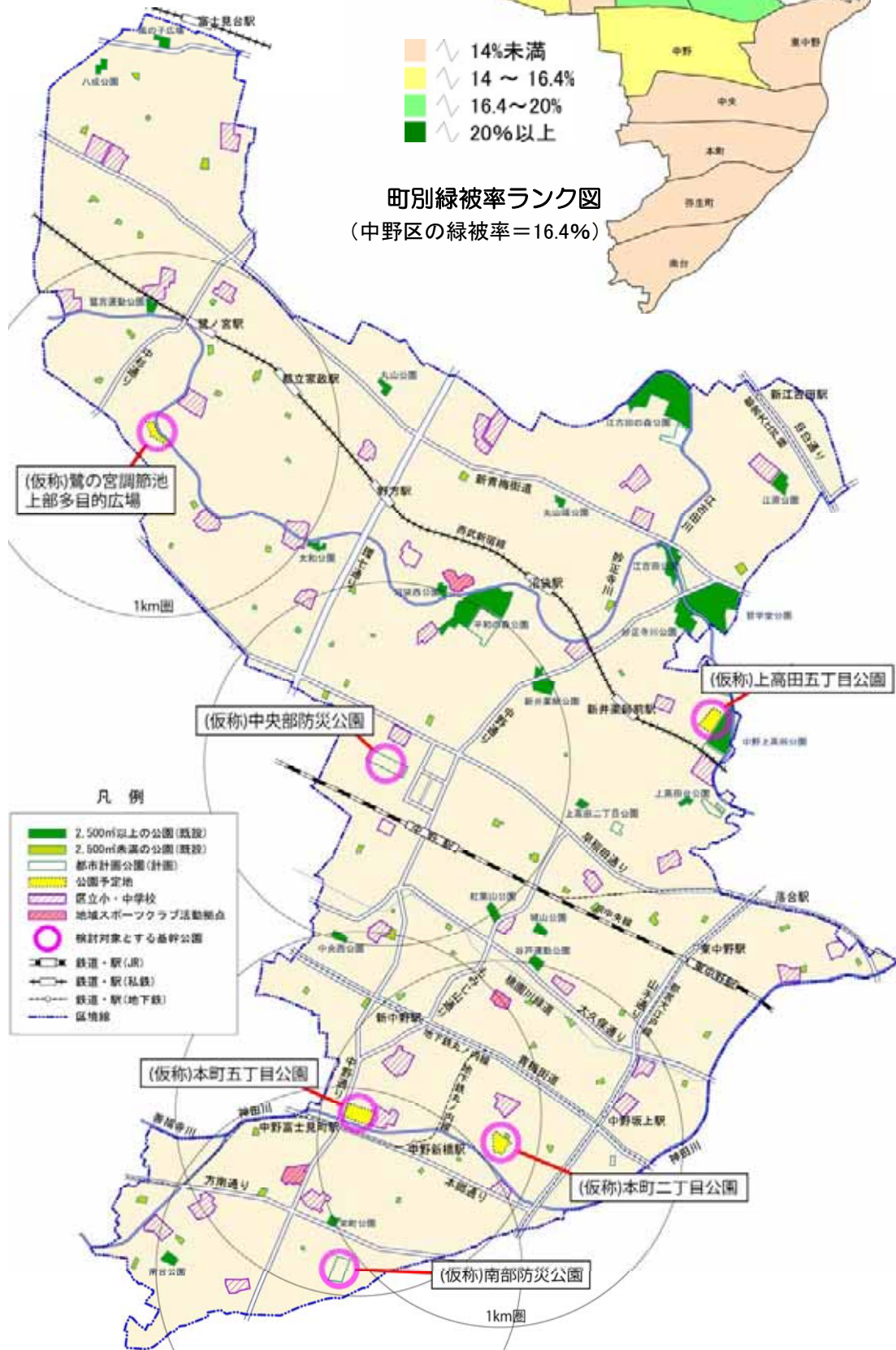


整備予定の大規模公園位置図



主要機能の分担関係（案）

公園名称	所在地	面積	種別	主として分担する機能				
				憩い・休息機能	スポーツ機能	交流機能	環境保全機能	防災機能
(仮称)中央部防災公園	中野4-13	1.50ha	近隣公園	◎ 拠点地区のオアシス		◎ にぎわい交流	◎	◎ (広域避難場所)
(仮称)南部防災公園	南台1-15	1.00ha (予定)	近隣公園 (予定)	◎ 密集地域における憩い空間	◎ ミニサッカー その他		◎	◎ 消防訓練 (広域避難場所)
(仮称)本町五丁目公園	本町5-28	1.19ha (予定)	近隣公園 (予定)	◎	◎ 少年野球 その他			◎ 救援活動
(仮称)本町二丁目公園	本町2-13	0.62ha (予定)	(未定)	◎ 癒しを提供する静的な公園		◎ 交流機能施設	◎ 地域の森創出	◎
(仮称)鷺の宮調節池上部多目的広場	白鷺1-3	1.00ha (予定)	(未定)	◎	◎ 少年野球 ミニサッカー その他			◎ 地域の防災性向上 (広域避難場所)
(仮称)上高田五丁目公園	上高田5-5	0.70ha (予定)	(未定)		◎ サッカー			◎ (広域避難場所)

<参考>既存公園（1ha以上）

公園名称	所在地	面積	種別	主として分担する機能				
				憩い・休息機能	スポーツ機能	交流機能	環境保全機能	防災機能
妙正寺川公園（改修）	松が丘1-33	1.73ha	総合公園 (野方公園)		◎ サッカー 少年野球 その他			◎ (広域避難場所)
江古田の森公園	江古田3-14	6.00ha	地区公園	◎	◎ ボール遊び		◎	◎ 消防訓練 (広域避難場所)
平和の森公園	新井3-37	6.50ha	地区公園	◎	◎ 野球 ボール遊び	◎ 平和	◎	◎ (広域避難場所)
哲学堂公園 ※	松が丘1-34	5.25ha	総合公園 (野方公園)		◎ 野球・テニス ・弓道		◎	◎ (広域避難場所)
中野上高田公園	上高田5-7	1.94ha	総合公園 (野方公園)		◎ 野球・テニス			◎ (広域避難場所)
新井薬師公園	新井4・5	1.26ha	街区公園	◎			◎	

注) ・◎：主として分担する機能（柱とする機能のみを表示）

- ・少年野球にはソフトボールを含む
- ・その他：フェンス、ネット等工作物を設置せずに行える軽便なスポーツ（ゲートボール、グラウンドゴルフ、ドッジボール、パタンク等）
- ・各公園が共通して分担すると捉える「オープンスペース・景観機能」は、上表から除外。
- ・「歴史文化」を主要機能とする公園は検討対象公園の中には位置づけなかった。

※ 哲学堂公園は、上表に示していない「歴史文化機能」が主要機能の一つ。

【地区全体の景観軸等の設定】

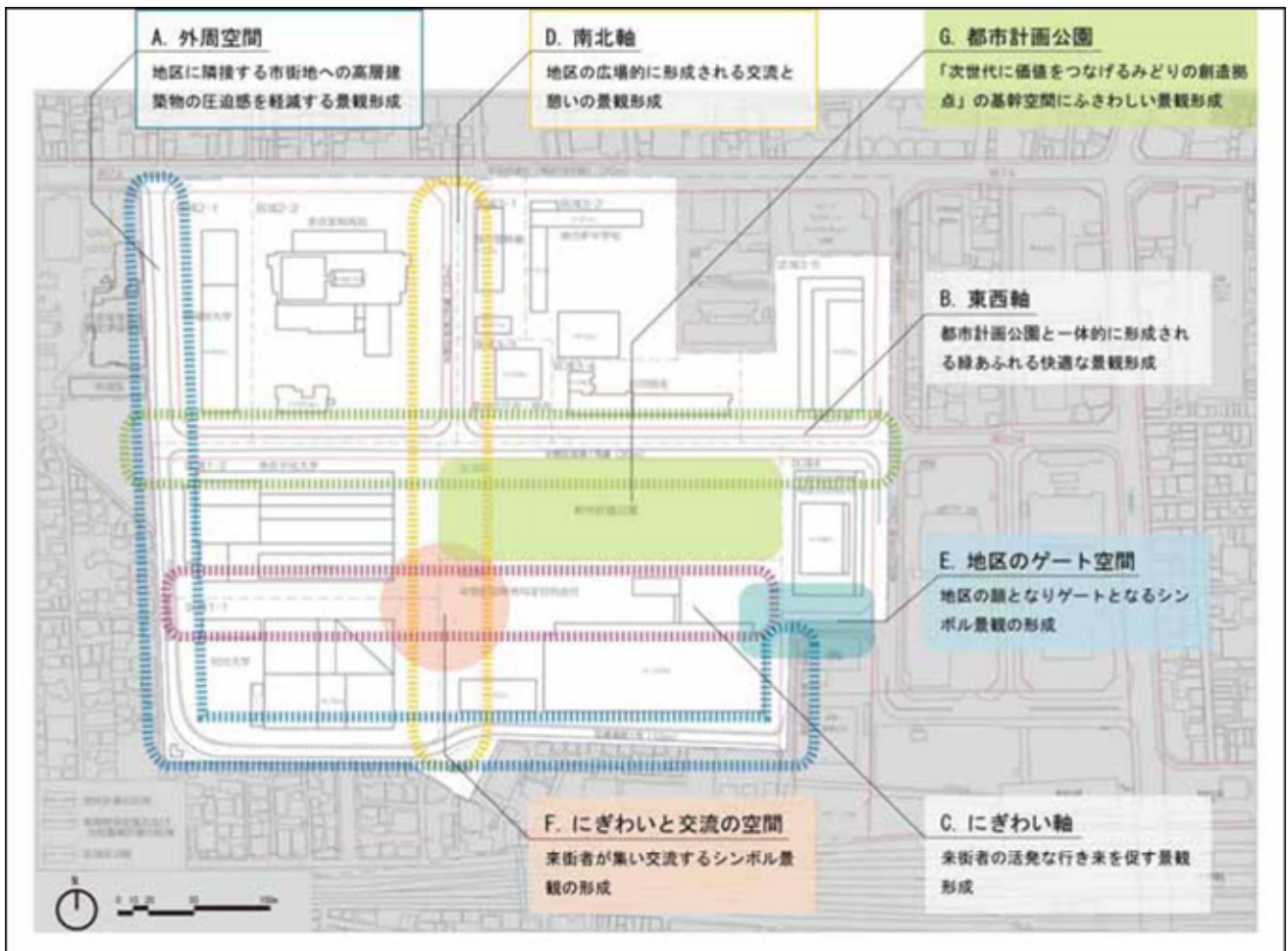
景観軸の形成

- A 外周空間
 - ・地区に隣接する市街地へ的高層建築物の圧迫感を軽減する景観形成を図る。
- B 東西軸 (区画街路1号沿い)
 - ・都市計画公園と一体的に、風格があり、みどりあふれる快適な景観軸の形成を図る。
- C にぎわい軸
 - ・来街者が行き交うにぎわい空間を形成する軸として、活発な人の行き来や活動を促す景観形成を図る。
- D 南北軸
 - ・来街者が交流する軸として、地区の広場的に形成される交流と憩いの景観形成を図る。

拠点空間の景観形成

- E 地区のゲート空間
 - ・当地区の顔となる拠点として、既存樹木を活かしたゲートとなるシンボル景観を形成する。
- F にぎわいと交流の空間
 - ・来街者が集い交流する拠点として、樹木等による視線の誘導と人々が集まる広場によるシンボル景観を形成する。
- G 都市計画公園
 - ・未来に残す価値としての森をつくり、みどりの創造拠点となる基幹空間の整備を図る。

<景観軸と拠点空間>



【 景観形成のテーマ 】

《次世代に価値をつなげるみどりの創造拠点》

区民が共有できる価値としての森をつくり、
次世代に価値をつなげるみどりの創造拠点の中心的役割を果たす

【 計画目標 】

～緑あふれる、中野区の新しいシンボルとして～

日常時にも災害時にも、常に様々な人々にとっての「心の拠り所」となる場所の実現

中野のまちが持つ活力や温かみといった「中野らしさ」を継承しつつ、都内有数の緑豊かな
オープンスペースを活かし、地球環境問題に応える新しい都市空間を創出する。

【 緑のあり方 】

- ・ みどりを、地球規模での環境問題に応えるための「環境インフラ」として捉える。
- ・ また、みどりを「環境インフラ」としての役割だけでなく、地域コミュニティの形成や、にぎわいやうるおいを創出するための装置、地域の歴史性を表現するものとしても捉える。
 - 地球規模での環境問題へ応えるためのみどり ⇒ 「環境の再構築」
 - 心の拠り所となるためのみどり ⇒ 「100年後の存在感（人の心に残るみどり）」
 - 地域の歴史性を表現するみどり ⇒ 「森：歴史の継承と未来に残す価値」

【 求められるデザイン 】

- ・ 陳腐化しない普遍的な価値を有した景観デザイン
- ・ 大きなスケール感に対峙するとともに人々の活動空間はヒューマンスケールなデザイン
- ・ 様々な人々の活動を促進するユニバーサルデザイン
- ・ 広々として見通しのきく、すっきりとした安全な空間デザイン
- ・ にぎわいや施設を演出するメリハリあるデザイン

【 公共都市基盤施設のデザイン 】

●形状

- ・ 広々とした景観を演出するようすっきりとした形状とする
- ・ 人の温かみが感じられる形状とする

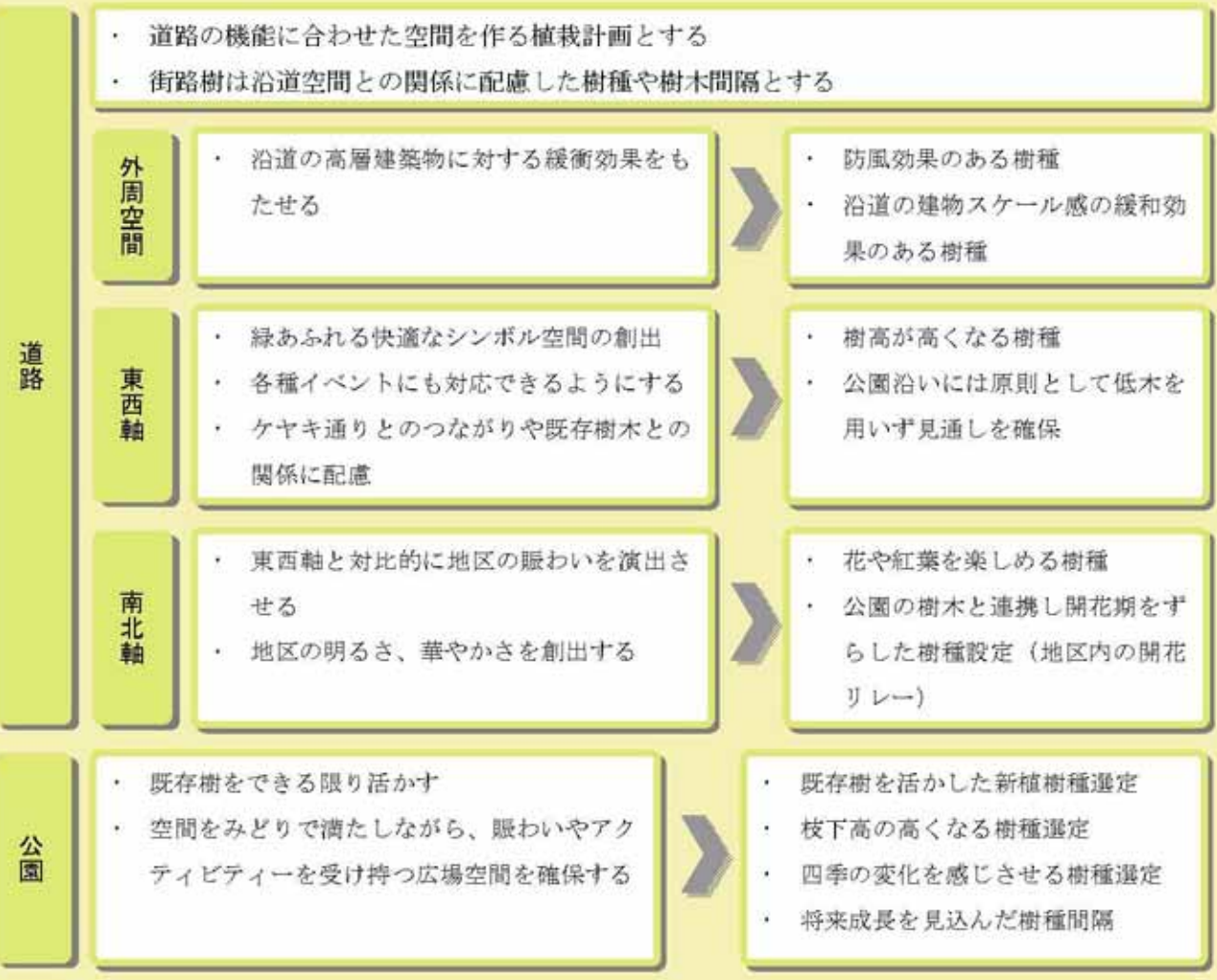
●素材

- ・ 機能的で維持管理しやすい素材とする
- ・ 人の温かみが感じられる素材とする
- ・ 時間の経過とともに、味わいのでる素材とする
- ・ 環境負荷低減に寄与する素材とする

●色彩

- ・ 人や季節感を際立たせる色彩とする
- ・ 人の温かみが感じられる色彩とする
- ・ にぎわいが感じられる色をポイントで使用する

【 みどりのデザイン 】



都市計画公園、公共空地、街路が一体となったみどり豊かな空間の創出

(※但し民有地(事業者)敷地内は参考であり、今後とも調整をしていく)

